

- 問1 現代の企業活動において、廃棄されるものを最小限に抑え、再利用を徹底する努力が求められています。このような「限りある資源を有効に使う社会」を目指す背景として最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 天然資源には限りがあり、廃棄物の増加が深刻な環境問題を引き起こしているため
 2. 高度経済成長期のように、輸出を拡大して外貨を獲得することを最優先としているため
 3. インターネットの普及によって情報の流通量が増え、資源の管理が容易になったため
 4. 少子高齢化によって国内の消費が減少し、安価な製品を大量に作る必要がなくなったため
- 問2 循環型社会の形成において、リサイクル（再生利用）よりもリデュース（発生抑制）が優先されるべき理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 廃棄物の量を減らすことよりも、廃棄物を種類ごとに細かく分別する習慣を身につけることの方が教育的効果が高いから。
 2. リサイクル製品は新品よりも強度が低くなるが多いため、経済的な損失が大きくなるから。
 3. 一度使用したものをそのまま使い続ける方が、新しい製品を作るよりも技術的に高度な知識を必要とするから。
 4. 廃棄物の処理や再資源化には多大なエネルギーが必要となるため、最初からゴミを出さない方が環境負荷が小さくなるから。
- 問3 1990年から2018年にかけての世界の二酸化炭素排出量に関する統計において、排出量は全体で約1.6倍に増加しています。この期間、削減目標のあったイギリスやドイツが排出量を減少させた一方で、中国、インド、南アフリカ共和国などの国々で排出量が数倍に急増した主な背景として、適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 地球温暖化対策の国際的な枠組みが消滅し、世界全体で化石燃料の使用制限が完全になくなったため。
 2. 京都議定書において、これらの発展途上にある国々には温室効果ガスの削減目標が設定されていなかったため。
 3. 先進国が削減目標を達成するために、自国の古い工場設備をすべて発展途上国へ移転させたため。
 4. 発展途上国が森林を大規模に再生したことで、二酸化炭素の吸収量が増え、排出量を制限する必要がなくなったため。
- 問4 地球温暖化対策の国際的な枠組みであるパリ協定について、その内容や特徴を説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 先進国のみに温室効果ガスの排出削減義務を課し、発展途上国には経済発展を優先させるため削減の義務を課さないとしている。
 2. オゾン層を保護することを目的として、エアコンの冷媒などに使われるフロンガスの生産や使用を国際的に禁止することを定めている。
 3. 酸性雨による森林被害を防ぐために、二酸化硫黄などの汚染物質の排出量を世界全体で一定割合削減することを義務づけている。
 4. 途上国を含む全ての参加国が温室効果ガスの削減目標を定め、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べ2度未満に抑えることを目指す。
- 問5 バイオ燃料が環境にやさしいエネルギー資源であるとされる理由について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 化石燃料とは異なり、燃焼の際に二酸化炭素を一切排出せず、代わりに大量の酸素を放出する性質があるため。
 2. 他のエネルギー資源に比べて燃焼温度が非常に低く、地球温暖化の直接的な原因となる熱を発生させないため。
 3. 原料となる植物が成長過程で光合成により吸収した二酸化炭素量と、燃焼時の排出量が同等とみなされるため。
 4. 燃料の製造過程で特殊なフィルターを使用し、大気中に存在する二酸化炭素を直接回収・分解してエネルギーに変えるため。
- 問6 大規模な開発事業を行う際、自然環境に与える影響を事前に調査・予測・評価し、その結果を公表して住民などの意見を反映させる仕組みを「環境アセスメント（環境影響評価）」といいます。この制度の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 地方公共団体が独自の判断で、特定の企業に対して開発後の損害賠償をあらかじめ義務づける仕組み。
 2. 環境基本法に基づき、自然保護のためにあらゆる規模の開発事業を一律に禁止する仕組み。
 3. 事業者が自ら環境への影響を事前に調査し、公表することで、開発と環境保全の両立を図る仕組み。
 4. 開発事業がすべて完了した後に、発生した環境被害を国が調査し、事業者には是正を求める仕組み。
- 問7 二酸化炭素やメタンなどの気体は、地表面から放出される熱を吸収し、大気を一定の温度に保つ役割を果たしていますが、その量が増えすぎると地球全体の気温を上昇させる原因となります。このような性質を持つ気体の総称と、それによって引き起こされる環境問題を組み合わせたものとして最も適切なものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 二酸化硫黄 — 砂漠化
 2. 窒素酸化物 — 酸性雨
 3. フロンガス — オゾン層の破壊
 4. 温室効果ガス — 地球温暖化
- 問8 フェアトレード（公正な貿易）の取り組みにおいて、途上国の生産者の生活を守るために設定されている価格の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 為替相場の変動による損失を補填するために設定される、毎月更新の「変動価格」
 2. 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されにくい「最低価格」
 3. 世界貿易機関（WTO）が加盟国に一律で義務付けている、世界共通の「固定価格」
 4. 先進国の消費者が購入しやすいように設定される、国際価格よりも安価な「特別価格」
- 問9 動植物などの生物資源を原料とするエネルギー源であり、燃焼時に二酸化炭素を排出するものの、原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収していることから、温室効果ガスの実質的な排出量を抑える効果が期待されている燃料を何というか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 鉱物資源
 2. バイオマス燃料
 3. 化石燃料
 4. 核燃料
- 問10 2015年に採択された、地球温暖化を防止するための国際的な枠組みである「パリ協定」について、それ以前の「京都議定書」と比較した際の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 先進国にのみ温室効果ガスの削減義務を課し、目標の達成を求めること
 2. 発展途上国を含む全ての国が、温室効果ガスの削減目標を作成して対策に取り組むこと
 3. 絶滅のおそれのある野生動植物が過度に取引されるのを防ぐため、輸出入を制限すること
 4. 特に水鳥の生息地として重要な湿地の保全を、国際的な協力のもとで進めること
- 問11 日本の物流業界では、2020年度に約4万人だったトラック運転手の不足数が、2030年度には約21万人に達すると予測されています。このような背景から推進されている、輸送手段をトラックから鉄道や船舶へ転換する「モーダルシフト」の利点として、適切な説明を選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 鉄道を利用することで、天候や災害の影響を全く受けずに、トラックよりも常に短時間で荷物を届けられる。
 2. トラックに比べて各家庭へのきめ細やかな配送が可能になり、再配達の問題を根本から解決できる。
 3. 全ての輸送を船舶に切り替えることで、道路整備にかかる公共投資を完全に廃止することができる。
 4. トラックに比べて輸送1トンあたりの二酸化炭素排出量を抑えることができ、人手不足にも対応できる。